

図書紹介

『ステップ トゥー ザ ヘブン
(Step to the Heaven : 天国への階段)』

ふなとたかし
船戸崇史著 (発行 : 岐阜新聞社。定価 : 952円 + 税)

ほうこうあん しゅんたん
葆光庵丸川春 潭総裁老師から、本書は人間禅の精神と軌を一にする素晴らしい著書であり、人間禅の団員や『禅』誌の愛読者の方々にもぜひ読んでいただきたいとご推薦がございました。ついでには、ご一読いただきますようご紹介申し上げます。

しゅよう
船戸氏は消化器腫瘍外科医として診療を続けられるうちに、自分のメスではガンには勝てないことを悟られ、在宅で療養されている方々の最後を看取^みるお手伝いができたらと岐阜県養老町で開業されました。西洋医学・東洋医学・ホリスティック医学を取り入れて診療され、特に在宅末期医療に力を注いでおられます。

氏は、開業以来200名近い方々の在宅死を看取ってこられました。本書は、そのうち12名の方々の生きざま・死にざまについての感動の記録であります。また、氏が目標とされている「心から『ありがとう』と言って死んでゆける、その人らしい最期をサポートするための在宅末期医療」についての実



同書表紙

践と反省の記録でもあります。

本書「愛^{いと}おしき人生」から（抄出）

私はいつもと全く同じ「ガン家族論」のお話をしました。「...ガンは元は自分の細胞です。正常細胞が、何かの原因でガン細胞に変わっただけです。...原因のほとんどは、あなたの肉体的、精神的ストレスです。...それなら、元へ戻しましょう。異常から正常細胞へ。そもそも自分でつくったんですから。...大事なことは、まずあなたの（ガンが出てくる）生き方に気づくこと。次に勇気を持って生き方を変更するのです。ガンとは、今のままの生き方じゃだめだよと、あなたに警告を伝えにきてくれた家族のような存在に過ぎません」

彼女（Iさん。進行した子宮平滑筋肉腫のため子宮全摘出術を受けたが、肺や肝臓に転移。抗ガン剤も効かない。）は大きく膨らんだおなかに手をおきました。私はおなかの中の腫瘍に、そっと「なぜ出てきたのかを聞くように」Iさんに指示しました。肉腫の原因を「ガンちゃん」（Iさんの肉腫の愛称）に聞いたのです。

「仕事、仕事でただひたすら突き進み、目的がない人生なんて価値がないと思い、人との関係を切り捨て、大切なことを切り捨て、余裕も潤いもない人生を生きている.....あなたはそれで後悔しないの」これがガンちゃんの言い分だと言われました。

やせた身体に青白いとがり顔、歩行すら不自由になってきているにもかかわらず、彼女は穏やかな目に屈託のない笑顔で話してくれました。

「ええ、何とも不自由ですが、毎日が楽しくてしかたないんです」「分からないんですが、目に映るすべてのものが愛^{いと}おいしいん

です」

「少ししか食べられませんが、果物も野菜もご飯も、本当においしいんです。こんなにおいしかったかなって思うほどです。それだけじゃない、テレビやラジオまでが愛おしいんです。外の緑がきれいで、キンモクセイの香りもこんなにいい匂いだったかって思うくらいです」

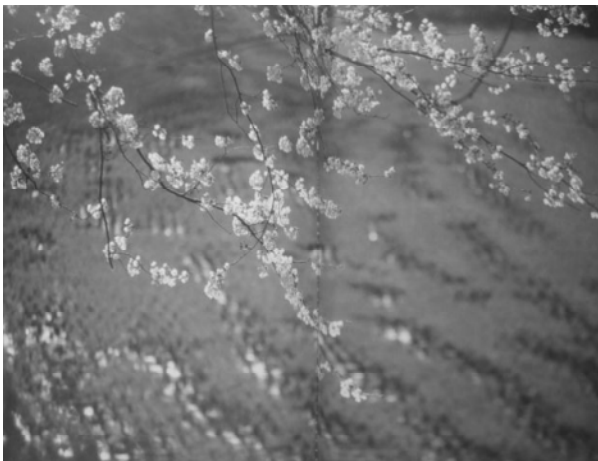
（ガンの声を聞くシートから）質問「ガンはあなたにどう生きよと言っていますか」ガンちゃん「ただ生きていることに感謝して生きなさい」ガンとは、あなたをより高い「生きる」境地へ導く案内人だったんですね。

今朝もまた目覚めて目が見え手が動く

ああ極楽よ この身このまま

（船戸氏のご母堂の遺詠）

（文責：編集部）



桜の花（同書より。小寺克彦氏撮影）